

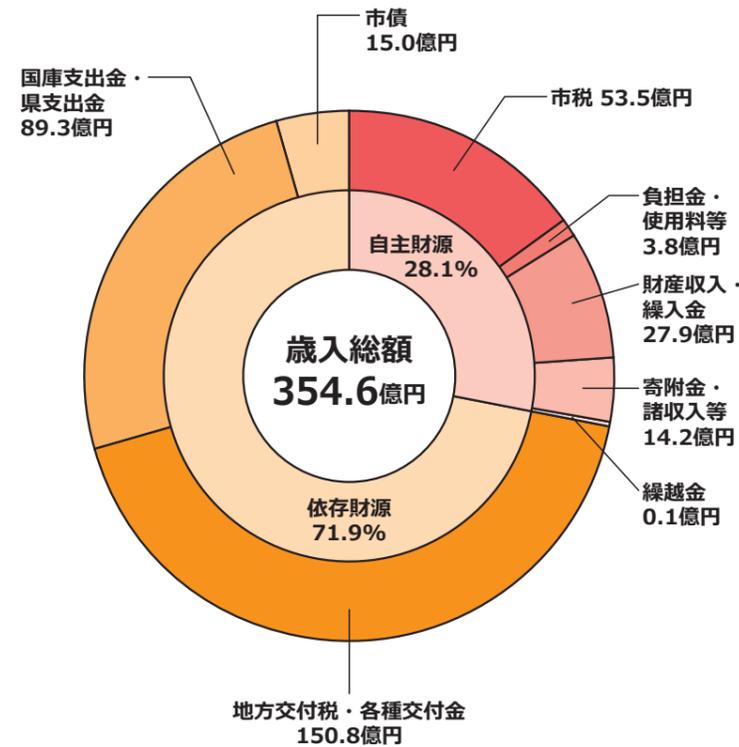


五所川原市の決算



「財政」や「決算」という言葉を聞くと、「なんとなく難しそう…」と感じていませんか？
そんな難しそうなる決算を簡潔にご説明します！

令和6年度は
約22.2億円の
黒字決算!!



歳入

歳入は、市税などの「自主財源」と地方交付税や交付金などの「依存財源」に分けられます。五所川原市では、使い道が広い自主財源が少なく、依存財源に頼らざるを得ない状況です。

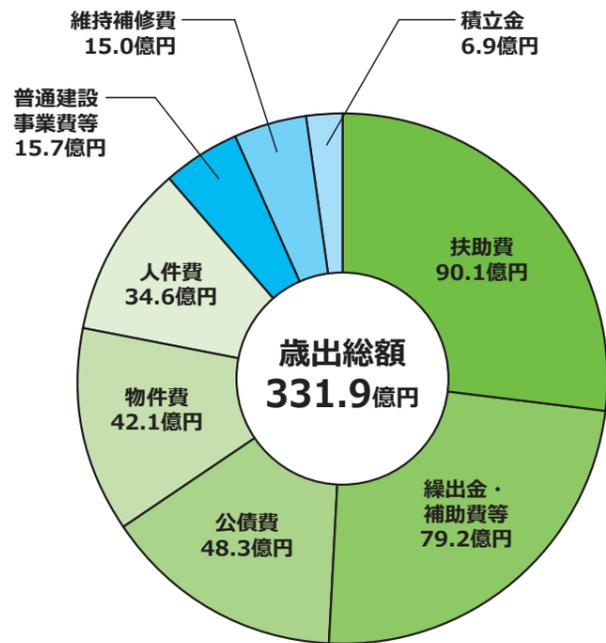
令和6年度歳入総額は前年度より約8億円増額しました。理由として、地方交付税による収入が増加したことがあげられます。

歳出

歳出のうち、人件費、扶助費、公債費の3つが義務的経費と呼ばれ、これは簡単には削減することができない経費です。

令和6年度は前年度に比べて扶助費が約7億円減額しましたが、歳出総額は約5億円増額となりました。

増額理由の1つとして、前年に比べ降雪量が多かったことにより、除排雪事業に要する経費が大きく増額したことがあげられます。



* 数値は令和6年度普通会計決算額

* 黒字決算額は歳入歳出の差額から翌年度に使うお金を差し引いた金額

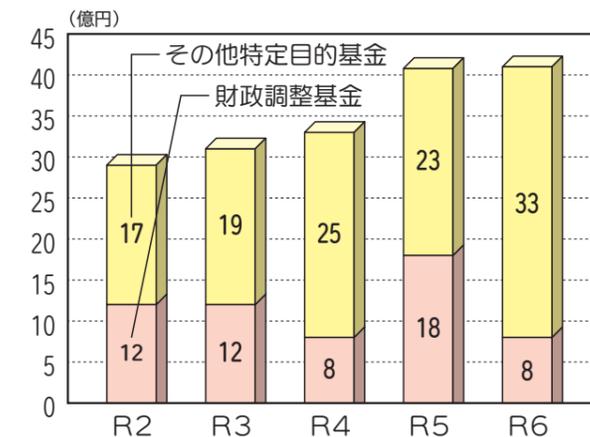


Q 市の貯金はどれくらいあるの？ (R2~R6)



A 令和6年度末では、基金（市の貯金）残高は約41億円になりました。

貯金残高（基金残高）



主な基金の使い道

- 大雪に対応するための除排雪経費
- 突発的な災害発生に伴う災害復旧費



基金は全体的に増加しているけれども、一般家庭での貯金にあたる財政調整基金は、昨年が大雪だったこともあり、前年度に比べて減額しているよ。

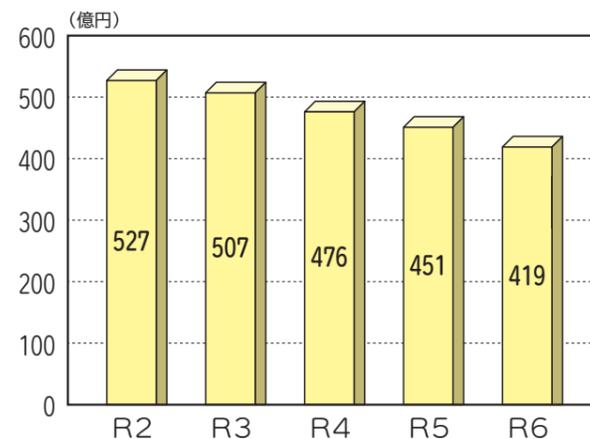


Q 市の借金はどれくらいあるの？ (R2~R6)



A 令和6年度末では、市債（市の借金）残高は約419億円となりました。

借金残高（市債残高）



主な市債の使い道

- 公共施設の建設、改修工事
- 道路の改良や橋の架け替え工事



行政の借金は、今の市民だけではなく未来の市民にも負担してもらえるように、毎月の生活費ではなく住宅ローンのような将来にわたって使い続ける大きな事業のために使っているよ。



Q 総合的な財政状況は？



A 今後、人口減少により税収の減少が見込まれる一方、物価高騰や社会保障経費の増加など支出は増加傾向にあります。

このような状況を踏まえ、新たな財源の確保や事業の効率化はもちろんのこと、計画的な基金の積立や市債の新規発行抑制により持続可能な財政運営を行います。

詳細は、市ホームページを確認してね!

